

閉上地区まちづくり協議会 公園緑地部会(1) 議事録

日時	平成27年9月13日(日) 10:00~12:15
場所	名取市復興区画整理課会議室(仙台法務局名取出張所3階)
テーマ	第1回中央公園計画づくりワークショップ
出席者	(代表世話役)針生勉、(副代表世話役)阿部ひで、(副代表世話役)今野義正、(世話役)今野慎介、阿部由子、高橋新一、渡部牧、職員9名、(事務局)コンサルタント5名
コーディネーター	神戸まちづくり研究所 辻信一、東末真紀
オブザーバー	職員2名、傍聴者1名
資料	資料-1 自己紹介シート 資料-2 世話役会(56)議事録 資料-3 第1回公園緑地部会資料

○ 第1回中央公園計画づくりワークショップ概要

1. これまでの経過説明 (針生代表世話役)

- ・公園緑地部会の設置について説明。
- ・まち協のこれまでの取り組み、閉上地区まちづくり提案内容等について説明。

2. ワークショップ

<公園緑地部会のスケジュール>

- ・公園緑地部会の予定スケジュールは次のとおりである。なお、第4回部会が終了した後、総会等を経て、年末には公園についての提案を盛り込んだ閉上地区まちづくり提案書を市長へ提出する予定である。

第1回：平成27年9月13日

第2回：平成27年10月上旬

第3回：平成27年11月上旬

第4回：平成27年12月上旬

<中央公園をどんな公園にするべ！(グループ別ワークショップ)>

- ・中央公園の使い方(いつ、だれが、どのように使う、どんなものが必要など)についてA、Bの2グループに別れ、グループ別ワークショップを行った。

3. その他

<次回部会>

- ・次回公園緑地部会は10月24日(土)頃で日程を調整する。

○グループ別ワークショップの詳細

<周辺条件> (コーディネーター辻氏)

- ・中央公園の使い方について意見を出していただく。まず、公園周辺の土地の状況を把握する必要がある。状況は次のとおりである。

①中央公園：街区公園。面積約5,000㎡。外周寸法北側から時計回りに83m、63m、89

m、54m。若干不整形。

②公園南側：中央緑道。幅員15m。

③公園北側：公民館。面積約4,000㎡。

④公園西側：区画道路。幅員15m。両側歩道3.5m。植栽あり。

⑤公園東側：区画道路。幅員6m。

⑥公民館の北側：区画道路。幅員15m。両側歩道3.5m。植栽あり。

⑦街区公園には、基本的に駐車場の設置はない。

・それでは、A、B、各々のグループ内で意見を出し合っていたく。

<グループ別ワークショップ>

・中央公園の使い方（いつ、だれが、どのように使う、どんなものが必要など）についてA、Bの2グループに別れ、グループ別ワークショップを行った。

（Aグループ）テーブルコーディネーター1名、参加者7名

（Bグループ）テーブルコーディネーター1名、参加者9名

<グループ別発表>

（Aグループの主な内容）

・次の3つの事項に分け公園の使い方、棲み分けを考えた。

①普段の利用：平日の帰り、また週末にゲートボール、ソフトボール、野球、サッカーの練習など。

②イベント時の利用：地区民運動会、夏祭り、盆踊りなど。

③災害時の利用：地震、火事などの災害時の一時避難場所。公民館と連携させる。

- ・上記事項のような利用をする場合は、グラウンドを整備することが有効的である。
- ・公民館が休館中でも、いつでも使える、トイレ、水道、東屋などを設置することが考えられる。また、情報取得に利用できるフリーWiFiを設置することが考えられる。
- ・地区民運動会など、多くの人が地区外から訪れることを考慮すると、駐車場を確保する必要があるということが課題となる。

（Bグループの主な内容）

- ・公園と公民館を一体で扱ったらどうかと考え、公民館の中の広場をイメージした。
- ・駐車場は、公民館及び広場利用者のどちらも利用するので、各々利用しやすい位置に設置したらどうか。

・次の2つの事項に分け公園の使い方を考えた。

①イベント（晴れの日）の利用：祭り。防災用のカマドベンチを使い、芋煮会やバーベキュー。

②普段の利用：公民館の利用は高齢者中心。グラウンドゴルフに利用。野球などの

- ・全体的に、子供からお年寄りまで、みんなが交流する場所。
- ・野球などのボール遊びは、人に当たるなどの危険性があるため、公園内では禁止されているが、他世代交流を考慮するなら、お年寄りが子供のボール遊びなどを見守り、安全が確保できれば、公園内でボール遊びすることもできるのではないかと考える。
- ・以前の溜まり場は、コープか公民館であった。広場とベンチがあれば人が集まるのではないかと考えた。
- ・お酒や、コーヒーなどが飲める公民館、公園があったらどうかという意見もあった。

<総評> （コーディネーター辻氏）

・A及びBグループ共に、公園と公民館の一体利用を考えている。

- ・公園の使い方の棲み分けということであったが、共生と言ったほうが適切であると思う。
- ・利用のルールについては、今後の話になる。
- ・日常、非日常の使い方、役割を考える必要がある。
- ・東側のスポーツ公園の構想や、かわまちづくり計画があるが、未定部分が多いため、公園の検討において判断しかねる部分がある。
- ・公園の周辺には、公民館、緑道、歩道の街路樹があり、緑が多い。この緑をどのようにするか、次の課題となる。
- ・次回は、公園に必要なモノやコトについて考えていただく。

以上